

四半期報告書

(第21期第2四半期)

自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日

コムシード株式会社

東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 3
- 2 経営上の重要な契約等 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 5
- (2) 新株予約権等の状況 5
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 5
- (4) ライツプランの内容 5
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 5
- (6) 大株主の状況 6
- (7) 議決権の状況 6

2 役員の状況 6

第4 経理の状況 7

1 四半期財務諸表

- (1) 四半期貸借対照表 8
- (2) 四半期損益計算書 9
- (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 10

2 その他 12

第二部 提出会社の保証会社等の情報 13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	コムシード株式会社
【英訳名】	CommSeed Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂入 万弘
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地
【電話番号】	(03) 5289-3111（代表）
【事務連絡者氏名】	経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地
【電話番号】	(03) 5289-3114
【事務連絡者氏名】	経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期 累計期間	第21期 第2四半期 累計期間	第20期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高（千円）	565,093	521,708	1,131,764
経常利益（千円）	26,784	14,738	49,963
四半期(当期) 純利益（千円）	21,486	13,186	23,169
持分法を適用した場合の投資利益 （千円）	—	—	—
資本金（千円）	568,883	568,883	568,883
発行済株式総数（株）	37,500	37,500	37,500
純資産額（千円）	607,899	622,769	609,582
総資産額（千円）	872,805	932,558	859,047
1株当たり四半期(当期) 純利益 金額(円)	575.53	353.22	620.60
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	69.6	66.8	71.0
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	55,200	167,606	108,390
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△13,489	△7,555	△67,898
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	43,955	△1,548	△9,379
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高（千円）	401,234	505,182	346,679

回次	第20期 第2四半期 会計期間	第21期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	170.65	231.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は持分法を適用する関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成23年9月22日開催の取締役会において、株式会社ワークジャムが営むソーシャルゲーム事業を譲受けることに関して、同社との事業譲渡契約を締結することを決議し、平成23年10月18日付で事業譲渡契約書を締結しました。

詳細は、「第4 経理の状況 1. 四半期財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりであります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるモバイルコンテンツ市場は、スマートフォンの販売が引き続き好調であり、今後の拡大が予想されております。また、国内のSNSプラットフォーム向けのソーシャルアプリ市場も引き続き堅調に推移し、さらなる拡大の兆しを見せております。

このような状況のもと、携帯公式サイトの会員数は、一部のメーカーオフィシャルサイトのサービスを終了したことの影響もあり、減少傾向にありましたが、持続的な成長と企業収益力のさらなる基盤強化に向け、既存ビジネスを新しいプラットフォームにマルチ展開を図るなどの取り組みをより一層加速させました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は521,708千円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益は17,618千円（前年同四半期比34.7%減）、経常利益は14,738千円（前年同四半期比45.0%減）、四半期純利益13,186千円（前年同四半期比38.6%減）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルアプリについては、前事業年度末にサービスを開始した恋愛ソーシャルゲーム「eden*学園恋物語」のさらなるコンテンツ拡充に取り組み、徐々に会員数を伸ばしております。また、新しいサービスの企画・開発体制の強化を迅速に進めております。
- ② スマートフォン関連については、スロットアプリ「アントニオ猪木が元気になるパチスロ機」のAndroid OS版を販売開始しました。同アプリは、Android Marketで第1位となるなど好評を得ております。そのほか、大人気パチンコ機「CRモンスターハウス」のiPhone/iPodアプリを提供するなど、既存のコンテンツの新プラットフォームへの対応を進めております。
- ③ 携帯公式サイト関連については、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」において、パチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組みました。また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、人気の携帯アプリの早期配信など、引き続きサービスの拡充に取り組みました。
- ④ パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップ拡充、全国店舗への営業体制の強化を図った結果、契約店舗数は前年同期比で約30%増加しました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて73,510千円増加し、932,558千円（前事業年度末比8.6%増）となりました。これは流動資産の増加76,487千円と固定資産の減少2,977千円によるものです。

負債は、前事業年度末に比べて60,323千円増加し、309,788千円（前事業年度末比24.2%増）となりました。これは流動負債の増加61,440千円と固定負債の減少1,117千円によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて13,186千円増加し、622,769千円（前事業年度末比2.2%増）となりました。これは四半期純利益の計上によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期と比べ103,948千円増加し、505,182千円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期と比べ112,406千円増加し、167,606千円（前年同四半期比203.6%増）となりました。これは主に仕入債務の減少44,693千円、前払費用の増加52,057千円があったものの、税引前四半期純利益13,661千円、減価償却費8,525千円、売上債権の減少86,684千円、前受収益の増加151,475千円により資金が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期と比べ5,933千円減少し、7,555千円（前年同四半期比44.0%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7,341千円により資金が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は前年同四半期と比べ45,504千円減少し、1,548千円（前年同四半期比103.5%減）となりました。これはリース債務の返済による支出によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000
計	120,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	37,500	37,500	名古屋証券取引所 (セントレックス)	当社は単元株制度は採用して おりません。
計	37,500	37,500	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	—	37,500	—	568,883	—	—

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社サイカン	東京都千代田区神田駿河台3丁目2	20,572	54.85
山下 大介	東京都渋谷区	1,822	4.85
株式会社バックエックス	東京都港区赤坂4丁目7-14	1,806	4.81
イーエフジー バンク (常任代理人株式会社三菱東京UF J銀行)	24, QUAI DU SEUJET CP 2391 1211 GENEVE 2 SWITZER LAND (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	1,503	4.00
羽成 正己	東京都板橋区	553	1.47
コムシード従業員持株会	東京都千代田区神田駿河台3丁目2	426	1.13
エヌ・エス・アール株式会社	東京都中央区銀座7丁目13-10	329	0.87
岩本 種司	和歌山県和歌山市	252	0.67
清水 不二雄	東京都大田区	236	0.62
米田 雅彦	静岡県駿東郡長泉町	229	0.61
計	—	27,728	73.94

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 166	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,334	37,334	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	37,500	—	—
総株主の議決権	—	37,334	—

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
コムシード株式会社	東京都千代田区神田駿河台 三丁目2番地	166	—	166	0.44
計	—	166	—	166	0.44

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、霞が関監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,679	505,182
売掛金	262,470	175,785
商品及び製品	8,170	4,247
原材料及び貯蔵品	9,073	7,329
その他	96,006	106,321
貸倒引当金	△30	△9
流動資産合計	722,370	798,857
固定資産		
有形固定資産	39,870	40,371
無形固定資産	4,581	3,544
投資その他の資産		
その他	124,155	124,589
貸倒引当金	△31,930	△34,805
投資その他の資産合計	92,225	89,784
固定資産合計	136,677	133,700
資産合計	859,047	932,558
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,132	93,721
前受収益	—	151,475
未払法人税等	2,192	1,658
本社移転費用引当金	6,900	—
その他	62,282	27,092
流動負債合計	212,506	273,947
固定負債		
退職給付引当金	13,925	13,369
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	3,704	3,142
固定負債合計	36,958	35,841
負債合計	249,465	309,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	568,883
利益剰余金	58,054	71,241
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	609,582	622,769
純資産合計	609,582	622,769
負債純資産合計	859,047	932,558

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	565,093	521,708
売上原価	348,476	313,978
売上総利益	216,617	207,730
販売費及び一般管理費	※ 189,653	※ 190,111
営業利益	26,963	17,618
営業外収益		
受取利息	92	53
その他	2	1
営業外収益合計	95	55
営業外費用		
支払利息	274	60
貸倒引当金繰入額	—	2,875
営業外費用合計	274	2,935
経常利益	26,784	14,738
特別利益		
投資有価証券売却益	721	—
特別利益合計	721	—
特別損失		
本社移転費用	—	1,076
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,883	—
特別損失合計	4,883	1,076
税引前四半期純利益	22,621	13,661
法人税、住民税及び事業税	1,135	475
法人税等合計	1,135	475
四半期純利益	21,486	13,186

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	22,621	13,661
減価償却費	19,305	8,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	2,875
本社移転費用引当金の増減額 (△は減少)	—	△6,900
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,883	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△768	△556
受取利息及び受取配当金	△92	△53
支払利息	274	60
売上債権の増減額 (△は増加)	20,845	86,684
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,031	5,666
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,312	△44,693
前払費用の増減額 (△は増加)	—	△52,057
長期前払費用の増減額 (△は増加)	—	△3,212
前受収益の増減額 (△は減少)	—	151,475
その他	8,595	7,082
小計	56,322	168,558
利息及び配当金の受取額	92	53
利息の支払額	△274	△60
法人税等の支払額	△939	△944
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,200	167,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,657	△7,341
無形固定資産の取得による支出	△2,832	△214
投資有価証券の売却による収入	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,489	△7,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
リース債務の返済による支出	△6,044	△1,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,955	△1,548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,666	158,502
現金及び現金同等物の期首残高	315,567	346,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 401,234	※ 505,182

【追加情報】

当第2四半期累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
給与手当	67,945千円	64,750千円
広告宣伝費	13,363	25,563
支払報酬	14,653	13,355
支払地代家賃	19,008	9,866
減価償却費	5,475	5,341

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	401,234千円	505,182千円
現金及び現金同等物	401,234	505,182

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

当社は、携帯電話等のモバイル端末向けコンテンツの企画・制作・配信と関連するサービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	575円53銭	353円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	21,486	13,186
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	21,486	13,186
普通株式の期中平均株式数(株)	37,334	37,334

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期会計期間
(自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日)

当社は、平成23年9月22日開催の取締役会において、株式会社ワークジャムが営むソーシャルゲーム事業を譲受けることに関して、同社との事業譲渡契約を締結することを決議し、平成23年10月18日付で事業譲渡契約書を締結いたしました。

また、事業譲渡契約書に基づき、平成23年11月1日に事業を譲受けております。

1. 目的

現在、当社はSNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム事業の拡大にも注力しており、本事業譲受けにより、同事業のサービスラインナップの充実化、ならびに新たなビジネスや付加価値の創出が見込めると判断いたしました。

2. 譲受ける相手会社の名称等

名称：株式会社ワークジャム

所在地：東京都千代田区東神田一丁目11番14号

代表者：代表取締役 山口 孝

3. 譲受ける事業の内容

ソーシャルゲーム事業「不思議の森のパン工房」

4. 譲受けた資産の額

固定資産 25,000千円

5. 譲受価額及び決済方法

譲受価額は25,000千円であり、決済方法は現金であります。

2 【その他】

(1) 決算日後の状況

特記事項はありません。

(2) 訴訟

当社は、株式会社サーゴ・インターナショナルに対し、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の公認WEBサイトの運営に関する許諾契約について、債務不履行による35,000千円のロイヤリティ返還請求の訴えを、平成21年11月18日に東京地方裁判所に提起し係争中でありましたが、平成23年11月7日に和解が成立いたしました。

①和解の要旨

イ. 被告は、当社に対し、本件に関する平成21年6月29日付け契約書に基づき当社が被告に対し支払ったロイヤリティのミニマムギャランティの返還債務として35,000千円の支払義務があることを認める。

ロ. 被告が平成23年12月から平成35年3月までの期限内に、分割返済金30,000千円を支払った場合、当社は残金5,000千円の支払義務を免除する。

②当該事象の損益に与える影響

本件訴訟に要した訴訟費用は、平成24年3月期第3四半期において営業外費用に計上する予定です。

なお、当第2四半期会計期間において、保守的に分割返済金の回収可能性を検討し、貸倒引当金2,875千円を追加計上しております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

コムシード株式会社

取締役会 御中

霞 関 監 査 法 人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 小 林 和 夫 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 渡 邊 誠 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコムシード株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第21期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、コムシード株式会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は株式会社ワークジャムからソーシャルゲーム事業を譲り受ける契約を平成23年10月18日に締結し、同年11月1日に事業を譲受けている。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【会社名】	コムシード株式会社
【英訳名】	CommSeed Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂入 万弘
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長坂入万弘は、当社の第21期第2四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。